



スカウト代表が文科省を表敬訪問

22年度富士章受章スカウト代表表敬

日本ボーイスカウト内子第1団(田中弘団委員長、団員68人)の上石俊瑚さんが、(財)ボーイスカウト日本連盟の最高章である「富士章」を受章し、各県の受賞者と共に8月26日、文部科学省を表敬訪問しました。

上石さんは、「とても貴重な体験ができました。今後の活動の励みになります」と話していました。

◀高木義明文部科学大臣を囲み記念撮影。最前列中央左が上石さん



オカリナの音色に耳を澄ませて

高橋邸芋名月2011

“日本のビール王”高橋龍太郎氏の生家である「文化交流ヴィラ高橋邸」で10月13日、恒例となった「芋名月」の催し(風雅主催)が開かれました。離れ座敷では、オカリナ作家・奏者の小路陽光さん(香川県在住)が、「月」をテーマにした曲目を演奏。母屋では手作り団子が振る舞われ、訪れた人は風流な秋の一夜を楽しんでいました。

◀みんなが知っている曲のときは、来場者にも合唱を呼びかけて



町の名物料理を開発しよう

内子料理開発研究会

内子町商工会工業部会は10月16日、内子東自治センターで、「第1回内子料理開発研究会」を開きました。

内子グリーンツーリズム協会などと協力し、イノシシ肉のワイン煮やアメノウオのどぶろく蒸しなど、6品を調理。木下勝彰部会長は、「名物として定着する一品を開発し、商品化につなげたい」と意欲を語っていました。

◀食品加工産業などに携わる部会員が中心となり、名物開発を目指す



温かく支え合う地域をつくろう

こころのふれあいフェスティバル

心の健康に関心を持ってもらおうと、内子町と精神保健ボランティアグループでんでんむしは10月22日、内子町共生館で「こころのふれあいフェスティバル」を開きました。地域活動支援センターくじら(八幡浜市)の幸田裕司施設長が講演し、「コミュニケーションを取って人のつながりを広げ、地域の力を高めよう」と呼び掛けました。

◀センターでは、就労や交流の場づくりなど障害者の地域生活を支援

名月の美しさに誘われて

立石地区、町並保存地区で観月会

秋晴れの夜空に中秋の名月が浮かんだ9月中旬、町内2つの地域で観月会が開かれました。

立石地区・尾首の池では10日、「第5回月を愛でる会」(立石愛隣会主催、山内毅会長)が開かれ、約200人が参加。ライトアップされた池のほとりで月を眺めながら、地元食材を使った手作り料理や生バンドの演奏を楽しみました。

伝統的建造物群保存地区では11・12の両日、「八日市町並観月会」(八日市護国地区町並保存会他主催)が開かれ、2日間で約1,500人が来場しました。人々は各所で催される笛や琴の演奏を聞いたり、展示された和紙や手しごと作品などを見学したりしながら、月明かりの下をのんびりと散策していました。

①廃油で作った約500灯のキャンドルで美しく照らされた尾首の池
②通りでは、昔ながらの衣装に身を包み、はぜとり踊りを披露



2年ぶりの内子座公演を開催

劇団オーガンス「テツオくんは幸せだったんだ」

劇団オーガンス(徳田幸治代表)は10月9日、内子座で、内子小学校創立140周年記念公演(同事業特別委員会主催、土井千恵委員長)を行いました。

劇は、外見的問題があって外に出られないテツオくんを主人公に、彼を取り巻く人々を明るくユーモラスに描きながら、差別について考える内容。

夜には一般を対象に、「第14回定期公演」として、劇団初となる1日2回公演が行われました。



身を乗り出すようにして舞台に見入る児童たち

心豊かな成長を願って

国際ソロプチミスト大洲から絵本寄贈

国際ソロプチミスト大洲(渦尻孝子会長、会員24人)から10月13日、こぼと保育園・くみ保育園・石畳へき地保育園に絵本が贈られました。同団体は人権と女性の権利を高める奉仕活動を推進しており、読書週間にあわせて毎年、大洲市・喜多郡内の保育園に絵本を寄贈しています。こぼと保育園の山口スミ子園長は「とてもありがたいです。早速、子どもたちと一緒に読みたいと思います」と話していました。



元気に絵本のお礼を伝えるこぼと保育園の園児たち